



TYPE

大和田良

10/28TUE-11/8SUN

11:00-20:00

※ closed on Monday, last day -18:00

この度tokyoarts galleryでは大和田良写真展「TYPE」を開催致します。これまで数々の話題作を生み出して来た作家 大和田良が次に出会った被写体は活字でした。文字や数字の形の美しさを蒐集した作品群はそれぞれのもとして意味を持たないテキストとして壁に掛けられ、展示されています。レンズを通す事によって記号から解き放たれた活字たちの肖像をぜひご高覧ください。

Artist's Statement

骨董品を見て回るうちに会った被写体のひとつがこれらの文字、数字が彫られた金属板だった。当時紙幣を扱った「Banknotes」など印刷に関心を持っていた私は、すぐにこれらを撮影の対象とすることを決めた。撮影を進めると共に、印刷に詳しい様々な方にこの長辺5cm程度の金属板が一体なんなのかを聞いて回る。結果的にこれらはベントン彫刻機で用いる母型であろうということが分かった。ベントン彫刻機というのはこれらの母型をなぞりながら実際印刷に用いる活字を彫刻することができる機械で、戦前から戦後にかけて積極的に利用されたものだ。ただ今回撮影に用いたものは長体であったり、文字に不完全な部分があり実際の印刷に用いられたものではないと思われる。想像するに、彫刻師の練習用に作られたものではないだろうか。しかしながらその不完全さというものに、より緻密さを求める職人の技術の表れが感じられる。使われることがなく、また長く印刷工場で廃棄されることもなく倉庫に眠っていたものを骨董商が拾い上げ、結果的に自分が撮影することで今一度現在において写真として肉眼では見えない細部まで顕在化することは、文字や数字というものが持つかたちとしての美しさや手による工芸の記録が表れている。また彫られたそのかたちからは一枚一枚にある物語と共に、具体と抽象ということについて考えさせられるように思えた。

Artist's Profile

大和田良 Ryo Ohwada

1978年 仙台市生まれ

2002年 東京工芸大学芸術学部写真学科卒業

2004年 東京工芸大学大学院芸術学研究科メティアアート専攻修了

2010年 東京工芸大学芸術学部写真学科非常勤講師

tokyoarts gallery

東京都渋谷区東2-23-8

Tel.03-6427-6665 info@tokyoarts.com www.tokyoartsgallery.com

tokyo
arts
gallery